

ふるさとの川を思いっきり楽しもう！

五ヶ瀬川

かのオホボウ

五ヶ瀬川イキイキ生き物大図鑑

第1巻「地上編」

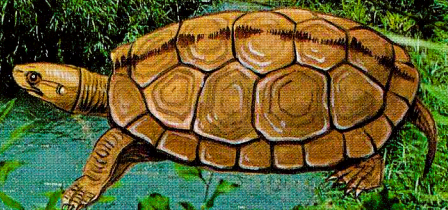
五ヶ瀬川に棲んでいる、
たくさんの鳥や植物、
は虫類や昆虫などを紹介しています。



カワセミ



タヌキ



イシガメ

タコノアシ

五ヶ瀬川イキイキ生き物大図鑑

地上編

五ヶ瀬川の水辺をよ〜く見てみよう! 生き物たちとの出会いに、たくさんの驚きや、発見、学びがきっとあるはず! 水辺には、たくさんの鳥や植物、ほ乳類や両生類、昆虫などが集まり、棲んでいます。

耕作地

川のあちこちに見られ、レンゲソウなどが生育し、その種を餌とする小動物が棲み、さらにそれを餌とする小動物が集まってきます。他にもトノサマガエルなどのカエル類にとって水田は重要な繁殖場となります。

河畔林

草地と同じく川の各地に分布しています。背の低い木から高い木が育っているため、高い場所に巣を作る鳥や、水際のコケがあるところを好むホタルなどが多く見られます。

中流域から上流域に見られる礫やごころした石が多い、自然がそのままのところ。小さな鳥から、トカゲやシマヘビなどが餌を採り、休憩場所として利用しています。

河原(裸地)

樹林地

河口から上流部に点在し、落ち葉や木の実などが豊富にあるため、昆虫が多く棲み、さらにそれらを餌とするタヌキなどの小動物が棲んでいます。さらに、フクロウなどにとっても重要な繁殖場となっています。

河原(植生あり)

中流域から上流域に多く、ツルヨシの群生が見られます。

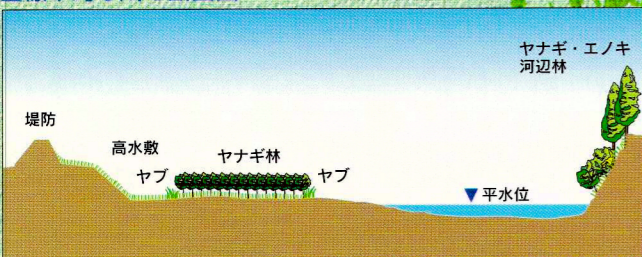
ヤブ

雑草や雑木、竹などが生え茂っているところ。

竹林

川の各地に見られ、高い場所に巣を作る鳥が繁殖場として利用しています。

標準的な川の断面図



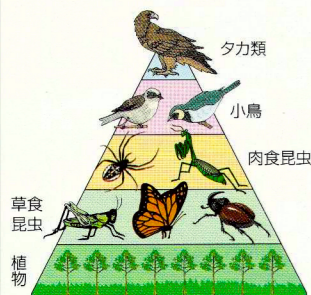
湿地(干潟)

河口付近に多く、水際で水たまりなどのある湿気の多い場所。ヨシが多く育ち、カヤネズミは、ここで植物のタネや昆虫を捕り、棲みかにもしています。また、カエル類は、湿気のある場所を好むので、湿地はカエルたちにとって重要。他に、トンボたちもここで餌を採り休憩場として利用しています。

草地

川の各地に分布し、比較的広い面積を占めています。ウサギの餌場や繁殖場となったり、昆虫も多く、他にもいろいろな種類の生物が利用し、棲んでいます。

たくさんの生き物たちは、すべて自然のバランスの中で生きています。



生物量ピラミッドについて

生き物同士の「食べる食べられる」という関係を「食物連鎖」といいます。植物が育つと、その植物をバッタやチョウなどの草食昆虫が食べ、その草食昆虫をカマキリやトンボなどの肉食昆虫が食べます。そしてその肉食昆虫を、小鳥が食べ、その小鳥をタカやフクロウなどの鳥が食べます。この関係を生物の量で表すと、ピラミッド型となり、このピラミッドを生物量ピラミッドと呼びます。



五ヶ瀬川河口より上流をのぞむ



上流：高千穂峡（高千穂町）



中流：干支大橋（北方町）



下流：コスモス街道（延岡市）

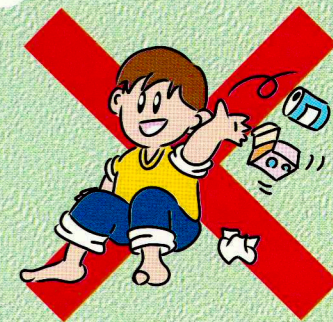
川はみんなのものだから、きちんと守ろう、こんなマナー。

植物を採るときは・・・

後から来る人や来年のことも考えて、茎や葉など、必要なところだけを摘むようにしましょう。根こそぎ採ることはしないよう気を付けよう。

鳥や小さな生き物を見るときは・・・

驚かさないう、双眼鏡でそっと見るようにしましょう。また、巣などを見つけたときは、さわったりしないように。そしてゴミは必ず持ち帰るように!



【水辺のひみつ大解剖!】

川に出かける前にマスターしよう!
川に出かけるのがグ〜ンと楽しくなるよ!

五ヶ瀬川に棲んでいる生物たち

PLANTS

植物

ヤナギタデ (夕苅科)

採れる時期: 5月~11月
見られる場所: 山野の湿った所 食べる部分: 葉



ヨシ (ヨシ科)

大きさ: 2~3m
見られる場所: 下流域
生活型: 水草
花期: 夏~秋



オギ (イネ科)

大きさ: 1~2.5m
見られる場所: 下流域
生活型: 草本
花期: 秋



BIRDS

鳥類

カワセミ (ブッソウ科)

L17cm・W25cm
声: ビツビツ、ピー 留鳥・水辺
見かける流域: 全域



アオサギ (サギ科)

L93cm・W160cm
声: コー (陸上) キャー (飛翔中)
留鳥・水辺
見かける流域: 中・下流域



マガモ (ガンカモ目・ガンカモ科)

L17cm・W85~99cm
声: クエックエック 冬鳥・水鳥
見かける流域: 中・下流域



MAMMALS

ほ乳類

タヌキ (ネコ目・イヌ科)

頭胴長: 50~60cm 尾長: 20cm
体重: 4~8kg
生息環境: 広葉樹林、川、沢沿いに住宅地周辺まで
繁殖時期: 春・1産4~6子
見かける時期: 3月~11月



イタチ (ネコ目・イタチ科)

頭胴長: 30~37cm 尾長: 約15cm
体重: 300~700g 生息環境: 水田、池沼、そのほか人家周辺
繁殖時期: 春1産1~7子
見かける時期: 3月~11月



コウベモグラ (モグラ目・モグラ科)

頭胴長: 113~18cm 尾長: 1.5~2.5cm
体重: 約100g 生息環境: 川、水田、池沼、おぼろ
繁殖時期: 春1産1~7子
見かける時期: 3月~11月



INSECTS

陸上昆虫

ヤマトシジミ (シジミチョウ科)

体長: 前はねの開張23~28mm
見られる場所: 平地から山地
見かける時期: 3月~12月




ハンミョウ (ハンミョウ科)

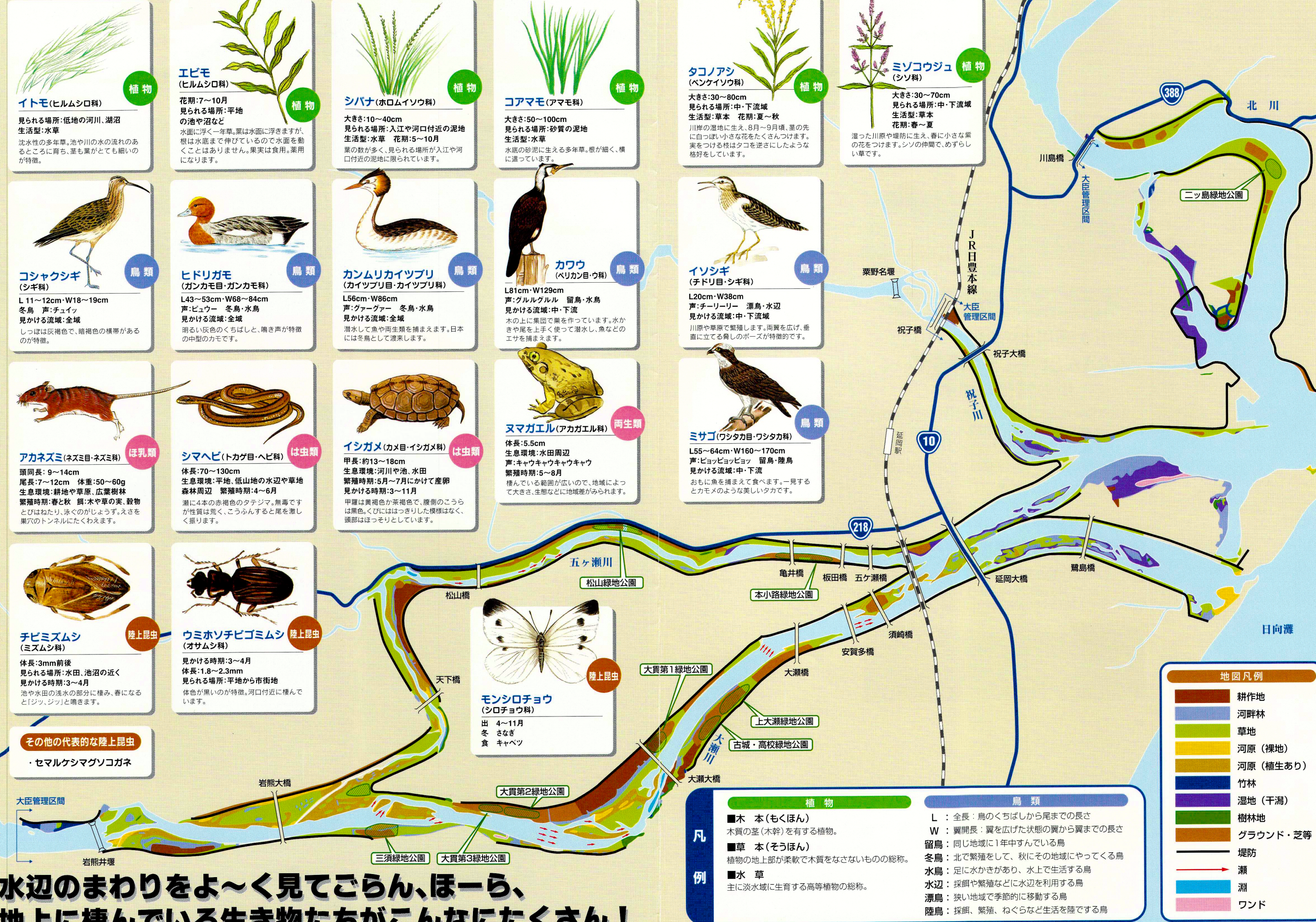
体長: 18~20mm
見られる場所: 平地から山地
見かける時期: 6月~9月



ドウガネブイブイ (コガネムシ科)

体長: 18~24mm
見られる場所: 平地から山地
見かける時期: 6月~9月





こうやって生物の調査を行います。生物ごとに違う、主な調査のしかた

鳥類

鳥類の調査は普通は7~8倍の双眼鏡を使いますが、細かい部分まで見たいときは、直視型望遠鏡と呼ばれる20~60倍のものを使います。調査時間は、多くの種類を見ることができ、日の出前から早朝にかけてが最も適しています。

定点記録法
定点記録法は、調査地点にとどまり、周辺の鳥類を確認する方法です。
この方法で確認された鳥類
カワセミ コジュケイ コチドリ ジョウビタキ
ヒドリガモ マガモ オシドリ など

ライセンスンサス法
歩きながら出現する鳥類を、姿または鳴き声によって確認する方法です。
この方法で確認された鳥類
カワセミ コジュケイ コチドリ ジョウビタキ
ヒドリガモ マガモ オシドリ など

両生類は虫類ほ乳類

カメトラップ
魚類等の餌を入れて水面に浮かせておく方法です。
この方法で確認された生物
アサギ トラフツバキ

墜落かん
大きめの紙コップ等に餌を入れて、地面に埋めておきます。小型のネズミなどの捕獲に利用されます。
この方法で確認された生物
ハツカネズミ

ネズミトラップ
餌を入れた箱を用いる方法です。
この方法で確認された生物
アカネズミ カヤネズミ

モグラトラップ
モグラ専用のしかけです。
この方法で確認された生物
コウベモグラ

陸上昆虫

ライトトラップ (カーテン) 法
夜、光に集まった昆虫を捕まえる方法です。
この方法で確認された陸上昆虫
オオモトシジミ ヤマトアオドウガネ シマゲンコウ
ホソヘリカメシ エビガラスズメ ウスベントガリメイガ
ドウガネブイブイ ハンノヒメコガネ

スウィーピング法
網で捕まえる方法です。
この方法で確認された陸上昆虫
ヤマトシジミ コブノメイガ



五ヶ瀬川
カワナビマップ

**五ヶ瀬川カワナビマップは、
みなさんといっしょに作っていく、
川の情報誌です。**

こんな生物を見たよ、こんな遊び場を見つけたよ!など
など、五ヶ瀬川の自然環境に関する情報をお寄せくださ
い。もっと見やすく、さらに使いやすくパワーアップして
いく予定です。みなさんからの情報をお待ちしています。



五ヶ瀬川に関する情報
その他ご意見・ご要望などは

国土交通省 延岡工事事務所調査第一課

〒882-0803 延岡市大貫町1丁目2889

TEL (0982) 31-1155

ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>

